

日向市公共施設等総合管理計画（案）について

1 日向市公共施設等総合管理計画策定市民検討委員会第1回会議について

別紙資料のとおり

2 日向市公共施設等総合管理計画（案）の策定について

平成27年3月に策定した「日向市公共施設マネジメント基本方針」の内容を改訂する形態で、最新データへの置き換えや所要の見直しを加えながら、国の策定指針で示されている記載事項で不足しているもの（数値目標・施設類型ごとの基本的な考え方等）を中心に策定作業を進めています。

(1) 計画期間

国の策定指針では、「10年以上」とすることが求められております。

人口の推移及び更新費用の推計では、今後50年間の見込みを行っていること等を踏まえ、今回の計画期間を「30年間」に設定します。

(2) 基本理念・基本目標等の設定

公共施設マネジメントをわかりやすくかつ全市的に推進するため、基本理念・基本目標（マネジメント三原則）等を設定することとします。

(基本理念・基本目標等の事例)

愛知県西尾市（3つの基本方針）

3M（ムリ・ムラ・ムダ）の解消とリスクマネジメント（危機管理戦略）

ハコモノに依存しない行政サービスの提供～施設重視から機能優先へ～

市民と行政が共に考える公共施設の未来

埼玉県さいたま市（三原則）

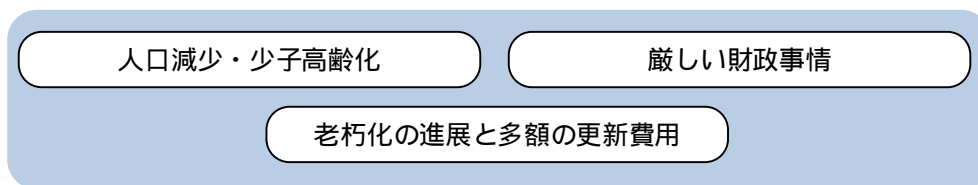
ハコモノ三原則

- ・ 新規整備は原則として行わない（総量規制の範囲内で行う）
- ・ 施設の更新（建替）は複合施設とする
- ・ 施設総量（総床面積）を縮減する（40年間で15%程度の縮減が必要）

インフラ三原則

- ・ 現状の投資額（一般財源）を維持する
- ・ ライフサイクルコストを縮減する
- ・ 効率的に新たなニーズに対応する

公共施設を取り巻く現況と課題



基本理念

将来を見据えた「身の丈にあった」公共施設による新たなまちづくり

基本目標（マネジメント三原則）

安全・安心の確保
点検・診断の実施と計画的な修繕・維持補修
総量の最適化と長寿命化
新規整備の抑制と複合化・集約化・統廃合、長寿命化の推進
ライフサイクルコストの縮減
維持管理方法、使用料、既存事業の見直し

数値目標（今後30年間）

建物系施設の延床面積の削減

< 日向市公共施設等総合管理計画における数値目標の考え方 >

国の策定指針においては、計画の実効性を確保するため、計画期間における公共施設の数量等に関する数値目標を設定することが求められています。

インフラ系施設については、整備済みのものを削減するのは現実的ではないため、長寿命化を含めたライフサイクルコストの縮減等を図ることとし、建物系施設に係る数値目標の設定に向け、次のとおり試算を行ってみました。

試算の条件

(人口の推移)

		2010 (H22)	2020 (H32)	2030 (H42)	2040 (H52)	2050 (H62)	2060 (H72)
社人研推計	総人口(人)	63,227	60,410	56,148	51,128	45,701	40,445
	H22比減少率(%)		4.5	11.2	19.1	27.7	36.0
市独自推計	総人口(人)		60,655	57,310	53,093	48,264	43,635
	H22比減少率(%)		4.1	9.4	16.0	23.7	31.0
市独自推計	生産年齢人口(人)	38,229	33,183	29,926	26,630	23,783	22,107
	H22比減少率(%)		13.2	21.7	30.3	37.8	42.2

(「日向市人口ビジョン(H27.10)」より)

(更新費用の推計)

	普通会計			公営事業会計		
	建物系施設	道路	橋りょう	建物系施設	水道管	下水道管
面積(m ²) / 延長(km)	288,270	581	5	17,252	375	267
1年あたり更新費用推計(億円)	28.9	11.5	2.6	1.6	9.2	6.6
	43.0			17.4		
過去5か年の1年あたり実績(億円)	11.0			2.3		

(「日向市公共施設マネジメント基本方針(H27.3)」より)

パターン (長寿命化)

事後保全から予防保全への転換等の長寿命化の取り組みにより、耐用年数を20%延長(60年→72年)するものと仮定した試算では、普通会計ベースの施設に係る1年あたりの更新費用の推計額が約8億円減少し、約35億円となることが見込まれます。

	普通会計			公営事業会計		
	建物系施設	道路	橋りょう	建物系施設	水道管	下水道管
面積(m ²) / 延長(km)	288,270	581	5	17,252	375	267
1年あたり更新費用推計(億円)	23.6	9.3	2.1	1.2	7.5	5.4
	35.0			14.1		
過去5か年の1年あたり実績(億円)	11.0			2.3		

パターン（長寿命化＋総量の最適化）

パターンに加え、人口減少を踏まえた複合化・統廃合等の取り組みにより、普通会計ベースの建物系施設の総量の最適化を行うものとした試算では、それぞれの削減率に応じて、次のような見込みとなります。

	長寿命化後	10%削減	20%削減	30%削減	40%削減	50%削減
建物系施設延床面積	288,270	259,443	230,616	201,789	172,962	144,135
削減面積（H25年度比）	-	28,827	57,654	86,481	115,308	144,135
1年あたり更新費用推計（億円）	23.6	21.2	18.9	16.5	14.2	11.8
1年あたり更新費用推計（億円） 普通会計総額	35.0	32.6	30.3	27.9	25.6	23.2

パターン（長寿命化）及び（総量の最適化）を行った場合の将来の更新費用の縮減とともに、現在保有する公共施設の維持補修・更新等に必要な事業費（過去5年間の1年あたり実績平均約11億円）をどのように確保していくかが課題であります。

過去5か年の普通建設事業費全体の1年あたりの実績の平均は約45億円であります。普通建設事業費全体の中における維持補修・更新等のための事業費への重点化とともに、普通建設事業費以外の事業費等の見直し（維持管理委託料等の経常経費の削減・使用料の見直し等）による維持補修・更新等の事業費のための財源の確保を図ることが必要です。

計画期間である30年後の人口の状況、また、前財政改革プランにおいては、普通建設事業費の目標額を市民1人あたり6万円（総額約38億円）に設定していること、さらには、今後の社会情勢の変化等により、真に必要な公共施設の新たな整備もあり得ることも想定しながら数値目標を設定することが現実的な考え方であります。

（3）施設類型ごとの基本的な方針

施設類型（施設用途別分類）ごとの基本的な方針について、今後、関係課との協議を行いながら、策定作業を進めていきます。

なお、必要に応じて、さらに細かな施設類型単位での策定を行っていく場合もあります。

今後のスケジュールについて

1 日向市公共施設等総合管理計画の策定

引き続き、日向市公共施設マネジメント推進会議（庁内）等において、計画（案）の策定作業を進めていきます。

2 次回会議の日程について

次回（第3回）会議： 月 日（ ）